

なかつ市議会だより

平成29年
9月議会

「台湾台中市政府 & サイクリスト」世界花博PR訪問団来津!



中津市と台中市との間で平成29年2月に「サイクルツーリズム及び観光友好交流の促進に関する協定」を締結しました。協定締結後は、観光情報の共有を行い相互に情報発信をするなど交流を進めているところです。

今回、台中市との交流の一環として、来年11月から台中市で開催される花博のPRに中津市を訪れた台中市訪問団45名に、サイクリングロードを走行して頂きました。



平成29年第1回臨時会

平成29年第1回臨時会を、7月5日に発生した「平成29年7月九州北部豪雨」に伴う災害復旧事業等に関する予算案審議のため、8月3日に開催しました。

臨時会では、平成29年度中津市一般会計第2号補正予算を原案通り可決し、15億60万2千円の増額により、補正後の予算総額は433億1,650万3千円となりました。

第70回 大分県民体育大会に参加

○議員ソフトボール 準優勝!

平成29年9月9日(土)、11日(月)
(別府市野口原
ソフトボール場、野球場)
一回戦
15対3で臼杵市に勝利
準々決勝
22対6で津久見市に勝利
準決勝
6対3で大分市に勝利
決勝
1対3で国東市・東国東郡に惜敗



○議員・教委リレー 第3位!

平成29年9月10日(日)
(大分銀行ドーム)
[前列左から]
古江信一(監督)、
今井義人(コーチ)
[後列左から]
大塚正俊(第4走者)、
山影智一(第1走者)、
千木良孝之(第2走者)、
松井康之(第3走者)



代表質問

毎年1回9月定例会において、会派の代表者が具体的政策を、主に市長及び教育長に対し質問するもので、今回が9回目になります。



前進

代表質問者 藤野 英司

◎災害対策

問 LPガス発電機及び災害対応型LPガスバルク型供給システムの導入を考えるべきではないか。

避難が長期化した場合の事を考え、

停電時も電源の確保が出来ることにより緊急時にも市民に安全・安心を提供できると思うが。

答 平成23年10月13日に中津市と中津地区LPガス協会との間で災害時のガスの優先供給についての協定を締結しております。

なお、現在、庁舎・学校・公民館等、市の施設では、90.24%となっております。

災害時のLPガスの有用性につきましては、十分理解しておりますので、今後、停電時の代替え発電などについて、どんな方法が良いのか、国・県・他市町村の情報収集を行うとともに、安全性・機能性・効率性など、総合的に研究を進めて行きたいと思っております。

◎みんなが「子育てしたくなるまち」への取り組み

問 全国的に少子高齢化が進むなかで、中津市の合計特殊出生率は1.94と高い水準を示している。これを維持向上できれば人口減少の歯止めにつながると考えられます。その為にはみんなが「子育てしたくなるまち」中津でなければなりません。その実現に向けて、今後どのような子育て支援策に取り組んでいくのか。

答 今年度の新規重点施策として、サンリブ中津店内に雨や猛暑の日も親子で遊べる「子どもいきいきプレイルーム」を、ダイハツ九州スポーツパーク大貞に公園のシンボルとなる大型遊具を整備し、子育て環境の充実を図っていきます。



【子どもいきいきプレイルームイメージ図】

◎観光振興（日本遺産認定後の取り組み）

問 「やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく」が日本遺産に認定された事は中津市・耶馬溪の観光を促進する最大のチャンスととらえ、今後どのような取り組みを展開していくか計画をお尋ねします。又、耶馬溪の名付け親とも言われている頼山陽先生が初めて耶馬溪を訪れて200年を来年迎えますが、何か行事計画は考えていますか。

答 平成29年度はまず地域の個性を見極め、調査をし、戦略をたてる年と位置づけております。平成30年度、31年度は戦略をもとにターゲットに沿った周知・誘客活動を行います。頼山陽先生については、地元の方々が行う活動の支援を行っていききたいと思います。

◎スポーツ・文化振興

問 ラグビーワールドカップ並びに東京オリンピック、パラリンピックのキャンプ地誘致の進捗状況と今後の取り組みは。

答 ラグビーについては、公認キャンプ地申請をし、組織委員会による審査を受けている状況です。オリンピックについては、マレーシアを対象国としてバドミントン競技などの誘致活動を行っています。今後も引き続き中津市をアピールし誘致に取り組んでいきます。

問 子育て世代の市民より「親子で行きたくなる市民プール」を望む声が多いが市の考え方は。

答 市民プールは、まちづくり全体を見据え、市民ニーズを踏まえた他地域との連携や、利用促進に加え、国県の制度、財政状況、経費や維持管理費など総合的に勘案して検討することになります。



「中津市民プール」

問 スポーツ少年団に対する支援策の充実を。

答 スポーツ少年団や、学校部活動や中学体育連盟などのあり方を学校現場や社会体育指導者等と協議をしているところです。今後、支援のあり方についても、協議したいと考えています。

問 2018国民文化祭大分大会、全国障害者芸術・文化祭を盛り上げていく為の取り組みの計画は。

答 今年4月に中津市の実行委員会を立ち上げ、県の方針に基づき、誰もが参加して楽しむことができ、また地域が元気になる大会を目指して準備を進めています。



敬天親和会

代表質問者 **中村 詔治**

◎災害対策について

問 中津市地域に県調査による土砂災害危険箇所数は。砂防ダム、治山ダム、急傾斜崩壊対策事業など、県の今後の計画は。また、改良復旧について国・県の動向、市の考え方は。

答 県が「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき実施した基礎調査の結果、平成29年3月末現在、1,591箇所となっております。今後の計画で県が施工する予定は、砂防事業による対応予定箇所が150件、治山事業による対応予定箇所が376件、急傾斜地崩壊対策事業95件となっております。急傾斜地崩壊対策事業については、保全人家数などにより、市が事業主体となる箇所があります。被災箇所の復旧については、原型復旧だけでは再度の災害を予防するのに不十分であると思われるため、国や県並びに全国市長会に対して、改良復旧事業制度の採択基準の緩和や、復旧事業の機能強化面の拡充といった支援を強く要望しています。

◎日本遺産認定を活かす

問 先に日本遺産認定を受けた水戸市の課題として、国の補助金が4年目から交付されなくなることにより、その後の観光客数をどう維持していき、効果的な情報発信事業をどう取り組んでいくか、ということでした。中津市としても将来を見据え、事業が一過性とならないような展開と、観光客数等数値目標を示した市の展望は。

答 青の洞門、羅漢寺、古羅漢など中津の財産です。これらの素材を有機的に結び付け、中津に来なくては見ることができない貴重なものとして、アピールすることが中津の観光に求められています。

中津日田道路のインターチェンジ工事が道の駅耶馬トピア横で着々と進んでいます。まずは、交通の便も良く人口が集中する北九州、福岡方面の誘客に積極的に取り組みます。観光入込客数を現状の15%増、年間534万人とする目標以上を目指し取り組んでまいります。



[競秀峰]

◎国民文化祭と障害者芸術・文化祭の取り組みについて

問 国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭の中津市の取り組みと参加事業は。また、文化事業推進を図るため(仮称)中津市文化振興条例を定めては。

答 平成29年度は、プレイベントとして、中津出身の版画家、松本古寿の企画展及び九州周防灘地域の障がい者によるアート作品展を開催します。平成30年度は中津市、日田市、玖珠町、九重町の共通地域テーマ「水の森」に合わせたライトアップ等を行うと共に、障がい者の作品展を含むアートプロジェクトを実施します。分野別事業として八幡鶴市神社の縁起を基にしたミュージカル、九州人形芝居フェスティバル、百人一首競技かるた全国大会の開催などを計画しています。文化振興条例の制定については、「なかつ安心・元気・未来プラン2017」、及び「中津市教育振興基本計画」において、今後の文化・芸術活動の推進についての基本方針や施策について定めております。



[おおい特大茶会1年前イベントの様子]

◎国民保護と北朝鮮核実験、ミサイル問題について

問 中津市としても市民の安全を第一に、万が一の体制整備、市民への情報提供、市民の取るべき冷静な行動等の啓発は。

答 国民保護事案が発生した場合、エムネットにより全国の市町村へJアラートによる放送が流れます。緊張が高まった4月24日に県主催による「北朝鮮情勢等に係る説明会」を受け、市では同日「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動」についてホームページに掲載すると共に市民からの問い合わせや事象発生時の対応について全職員に通知を行いました。5月には「弾道ミサイル落下時の行動」及び「スマートフォンアプリ等による国民保護情報の配信サービスの活用」についてホームページの追加掲載を行い、ミサイル落下時の行動について、5月、9月にチラシを配布しています。今後は、本市に影響が及ぶ可能性がある場合に、訓練放送や避難訓練を計画していきたいと考えております。



新生・市民クラブ

代表質問者 松井 康之

◎安心づくり

問 過疎地域における地域の中の学校のありようと過疎地域であっても住み続けられるための子育て支援の充実をどう考えているのか。

答 学校は保護者や地域にとっても大切な存在であると認識しています。そのうえで、子ども達が切磋琢磨し、競い合う事や、コミュニケーション力を『培う』『学び合う』環境づくりにより、生きる力を育む必要があるなど、子どものためにどうすべきか、という考えを軸に据え、あり方を考えるべきと思っています。

問 ひとり親などの生活支援や就労支援などのさらなる充実が望まれますが、どうでしょうか。

答 児童手当、児童扶養手当、放課後児童クラブ負担金の助成、生活資金や子どもの修学、就業資金の各種貸付事業の経済的支援のみならず、子育て支援に母子父子自立支援員を配置してひとり親からの相談を受けており、ひとり親家庭をサポートしています。



問 第3次の地域計画及び地域福祉活動計画をどう地域の自主防災組織の活性化や具体的な防災活動に繋げているのでしょうか。

答 本計画の基本理念は、地域のつながりの再構築を行い、住民同士が主体となり、協力することで安心して生き生き暮らせるまちづくりを行うとなっており、計画の中には、今後地域で取り組むべき防災対策も盛り込まれています。自主防災による地域防災の取り組みも、同じ考え方であり、地域コミュニティーの充実と、地域における防災力の強化が図られると考えています。

問 自主防災組織における防災士の役割は。

答 自主防災組織における防災士の役割ですが、防災士は地域の防災リーダーであり、自主防災組織の会長に協力して防災の啓発、研修会、訓練の企画や実施をするなど地

域防災力を高める活動を引き続きお願いしたいと考えています。

◎元気づくり

問 東京オリンピック、パラリンピックやラグビーワールドカップの事前キャンプ誘致の決意について。

答 これまで、あらゆる機会を通じ、関係者に働きかけるとともに、ことあるごとに県や関係機関等に対して、常に中津市のことをアピールし続けているところです。さまざまな取り組みや活動の際にも、教育委員会と一緒に努力してまいりました。どうかして実現させたいという思いは、教育委員会も議会も同じであると思います。また、キャンプ誘致の大変さというも、十分理解いただいていると思っています。ラグビーワールドカップのキャンプ誘致に当たっては、組織委員会が示す条件では、厳しい指摘もございしますが、現状を客観的に伝えし、その上で要件の緩和などを引き続き働きかけて参ります。今後もあらゆる手をつくして誘致実現のため、努力を続けたいと考えます。



[2016オリンピックデーラン]

◎未来づくり

問 過疎地域、中山間地域における地域活性化や地域振興を進める上で、地域の中における学校のあるべき姿をしっかりと描くことも大切では。

答 学校で大切なことは、その主役は子どもであるということだと考えています。学校では、知、徳、体、すなわち確かな学力、豊かな心、そして健やかな体を育む中で、子どもに「生きる力」をつけさせて、夢の実現に向け成長させることが重要です。

いろんな環境で育った子どもたち同士が接することで、これまで自分になかった考えや、感じていなかったものが見え、話し合うことで、友達の夢を知り、また時には人間関係でぶつかったりすると思います。子どもをとりまく教育環境を整えることが大事だと考えます。同じく地域振興も大事です。教育は勿論、地域振興は、人口、経済いろんな角度から、しっかりとした対策を考えたいと思っています。



日本共産党

代表質問者 荒木 ひろ子

◎命を守る政策の充実

国民健康保険の広域化に伴う市民負担の軽減策

問 中津市の国民健康保険税は市民負担の限界です。30年度からの広域化で値下げが出来ますか。負担軽減に最大の努力をし、命を守る市長の責任を。



[国保税の引き下げについて、政府へ要望書提出]

答 保険税の引き下げについては、県が国のガイドラインに従い市町村ごとの医療費水準と所得水準等を考慮し「標準保険料率」を算定しますが、その過程で国の公費拡充を保険税の増加を抑制するために活用するよう県と県下市町村で協議中です。

小児医療の充実で安心して子育てできる町に

問 小中学生の通院医療費を無料化すると、入院をしなければならぬ小中学生が5%減ると研究発表されています。市内28年度小中学生の入院費助成は約1,420万円(255件)でした。通院費を無料にして、入院する重病化を防いでください。

答 小中学生の通院医療費を無料にする件については、恒常的な財政負担や小児救急センターの状況も勘案しながら、医師会や有識者のご意見を伺い、また、国や県の動向を注視しながら慎重に対応していかなければと考えています。

◎長生きをして良かったと思えるまちづくり

交通弱者への外出の手助けを

問 中津市は公共交通手段も少なく、高齢になって車の運転に不安があっても、外出のために運転を続けております。先日の市民と議会のつどいでも要望が出されました。高齢者の外出の手助け、乗り合いタクシー等の実施の考えは。

答 外出の手助けになる対策については、タクシー料金の補助として、福祉的交通弱者支援事業を今年度より開始しました。今後も、既存の路線バスやコミュニティバスの運行と併せ、地域の実情に合わせた公共交通政策推進のため、乗り合いタクシー等を含め、移手段を検討していきます。

重度障がい者医療の市窓口申請手続きの改善を

問 重度障がい者医療の市役所窓口での申請制度は、重度障がいの世帯にとっては負担が大きく、現物給付などの改善を求めてきましたが、検討状況は。

答 重度心身障がい者医療費助成の申請については、現在、大分県が中心となり、重度の障がいをかかえた方が毎月窓口に出向く必要がない方法を検討しています。

◎安心して子どもを産み育てられるまちづくり

保育・学童保育・学校教育の充実、学校給食の無料化、子育て世代へ経済的支援を

問 公立保育所の正規保育士採用の考えは、病児保育の実施と途中入所の受入れ体制の充実は。

答 来年度正規保育士4名採用予定です。病児保育の実施には医師会の協力が不可欠なので、理解を求めていきます。空き待ちを除く待機児童は発生しておらず、今後も更に入らせていく予定です。

問 学童保育の必要な全ての子ども達の受け入れを。

答 本年度待機児童が発生した小楠校区と鶴居校区、今後の児童数の急激な増加が見込まれる北部地区を中心に、新規クラブ開設の取り組みを進めます。

問 教職員の過重勤務解決の一助として、タイムカードの設置も必要では。

答 タイムカードについては、根本的な解決策にならないと考えます。効果的な方法を考えたい。

問 学校図書費が減らされ困っています。増額して自ら学ぶ教育の充実を。

答 学校と市立図書館と連携しながら、学校図書館機能の充実に努めてまいります。

◎憲法・人権を尊重するまちづくり

市民の命と財産を守る責任を持つ奥塚市長の姿勢について。

問 北朝鮮のミサイル発射、大分空港へのオスプレイ緊急着陸について、市長は市民不安解消のための行動を。



[大分空港に緊急着陸したオスプレイの調査]

答 両事案とも全国市長会等から行動がなされています。市民の安心安全を脅かす恐れのある事象については、常に注視していきます。

問 7月7日、国連で核兵器禁止条約が採択されました。日本政府に署名の働きかけを。

答 国家間における条約締結は、国の専管事項であります。今後も平和の大切さを、戦争を知らない世代に引き継ぐための方法などについて考えています。

問 部落差別解消推進法の衆参国会の附帯決議について、地域指定のない中で、どう理解していますか。

答 実態調査が実施される場合には、新たな差別を生むことがないように留意しつつ、真に部落差別の解消に資するものとなるよう、その内容、方法について慎重に対応して参りたいと考えています。

9月定例会 一般質問

◆平成29年9月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(オレンジ色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。

「なかつ市議会だより」は、左開きをしています。



すが る み こ
須賀 瑠美子 ①
(新生・市民クラブ)

- ・地産地消誇れる中津市へ
- ・中津干潟保全のためのラムサール湿地登録について

問 学校給食での地産地消の日の食材青果類利用率が大変低い。子どもの食は地元への誇りにもつながるので重要。天候に左右されるのは分かるが中津に限ったことではないのでは。

答 地場産食材を少量でも取り入れられるメニューや新たな納入ルートを開発し、他市の例を参考に進めていきたい。

問 市は、ラムサール湿地登録についてどう考えているのか。関係機関との協議の進捗状況はどうなっているのかお尋ねします。

答 大分県や関係期間にて登録状況の把握を行い、改めて中津干潟の重要性を認識し利活用の手法の一つと認識しています。今後はすでに登録されている肥前鹿島や佐賀市の「東よか干潟」等の経緯や保全状況、活用事例を参考にしながら、注視していきたいと思います。



み か み ひ て の り
三上 英範 ②
(日本共産党)

- ・五年前の教訓を活かし、速やかな豪雨災害の復旧支援策を
- ・市有林主伐を市林業振興策に
- ・中山間地の農業振興の具体化
- ・過疎地域の生活満足策

問 治山治水は、昔からその土地を治める者の責任。市長は、*湯屋弾正の様な決意で100%の復旧実現を。

答 地権者の意向を踏まえ、災害復旧制度を活用し、100%復旧を目指して努力していきます。

問 4,720㎡の市有林の売却価格とその予定価格は。

答 売却価格は、12,999,000円で、予定価格は4,264,890円。

問 耶馬溪町家籠のある農家は約25aの水田に水を引くのに6月には3万円を超える電気料でした。こうした頑張る農家が農業持続できる市の支援策を。

答 これまでの交付金事業を継続すると共に、「地域農業経営サポート機構」を設置し、中山間地域の農業経営が持続できる体制整備を進めます。

問 軽自動車税重課額2年間で約6,000万円、簡易水道の年間2,700万円の市民負担増は改善すべきでは。

答 軽自動車税そのものに対する補助金や軽減などの支援策は考えていません。水道事業の健全で、安定した継続のため、法に基づき、公平かつ適正な受益者負担を図らなければなりません。



いま い よ し ひ と
今井 義人 ③
(新生・市民クラブ)

- ・市民病院の医師確保について
- ・公共交通の整備について

問 標榜しながら休診している診療科目と、今後の展望はどうなるのかお伺いします。

答 標榜している診療科目は26科で、休診科は整形外科と耳鼻咽喉科です。休診科や非常勤医師で対応している診療科については、各大学医局に医師の派遣をお願いしています。厳しい状況ではありますが、引き続き各大学医局へ出向き医師の派遣依頼に努めていきたいと考えています。

問 デマンド方式の小型バスの運行の検討は考えられないかお伺いします。

答 公共交通については、路線バス、コミュニティバス、タクシーのそれぞれの役割を連携して、継続可能な公共交通を形成していくよう計画しています。路線バスが運行していない地域については、コミュニティバスの運行を検討し、さらにコミュニティバスの乗車状況が極端に悪くなればデマンド方式などを含め、地域の実情に合わせた移手段確保対策を検討していきます。



おく やま ひ ろ こ
奥山 裕子 ④
(新生・市民クラブ)

- ・市直営施設の障がい者割引、バリアフリー化について
- ・ほめあうまち なかつ推進事業の今後について
- ・中津市防災の手引きについて

問 市が管理する資料館等の施設を、どなたでも楽しんで頂く為の配慮として障がい者割引、バリアフリー化への考えをお願いします。

答 教育委員会の施設は、障がい者割引導入の検討を行っているが、割引対象範囲や金額、状況等を調査し中津市全体の方針を踏まえた上で決定したい。施設のバリアフリー化は必要と考えているが文化財等ででき難い施設は、職員の合理的配慮がハード面の未整備を解消すると考えています。

問 「ほめまち」事業2年目は今年度豊陽中学校区で実施されていますが、この事業の願いと補助金(3年)の切れてからの取り組みの考えは。

答 基本は『ほめる』とは新しい価値を発見してそれを伝えること。上辺のほめ方ではなく、しかり方も学び、子ども自身が自分の価値を認め意欲に溢れる子どもの育成を図っていきたい。ほめまちの指導をして頂く菊池省三氏の委嘱期限は無いので、今後もアドバイザーとして市の教育に関わって頂きたいと考えています。

語句の説明

*湯屋弾正(ゆやだんじょう)：保延元年(1135年)、当時一帯を支配していた七地頭の一人。山国川の氾濫を治める為、大井手(堰)に人柱を立てることを提案した。(鶴市傘鉾神事)

「なかつ市議会だより」は、左開きになっています。



ちぎら たかゆき
千木良 孝之 ⑤
(新生・市民クラブ)

- ・空き家対策について
- ・子ども医療費の無料化に向けた事前調査の状況について
- ・スポーツ振興について
- ・防災について

問 市全体の空き家が1,239件のうち旧中津地域1,007件、旧下毛地域232件とのことですが、今後空き家は増え続け、生活環境が悪化し、市民の方々の不安が増え続けるでしょう。旧中津地域にも、空き家バンク制度が必要ではないですか。

答 空き家等対策計画の中で基本的な方針を空き家等の有効利用の促進とし、基本施策として「空き家バンク等の充実」を掲げており、旧中津市内の取り組みも今後検討する必要があると考えています。

問 子ども医療無料化について検討した試算金額は。

答 中学までの医療費を無料化した場合、試算した助成額総額で2億9千万円になる。市民税の課税状況に応じた学年ごとの助成見込額など、試算の仕方を考えている。無料化すれば恒常的な財政的負担になるし、医師の負担が軽減されているとは言えない状況であることなどから、国や県の動向を注視し、有識者のご意見を伺いながら慎重に対応していきます。



おおつか まさとし
大塚 正俊 ⑥
(新生・市民クラブ)

- ・子育て満足No.1をめざして
- ・市産材を全国ブランドへ
- ・地方創生に逆行する施策の見直し
支所の教育センターの復活

問 先天性難聴の早期発見に向けて、生後間もない赤ちゃんの聴覚を調べる「新生児聴覚スクリーニング」検査に対する助成を検討すべきでは。

答 新生児聴覚検査の実施状況の把握を行ない、要支援児や保護者に対する支援を行うと共に、他の市町村の状況、県の動向を見ながら、検査料の助成についても検討しています。

問 中津市産材利用住宅促進事業補助金の対象木材の品質保証に向けて、含水率計を購入し、材料検査の際、含水率測定をすべきでは。

答 補助対象となるKD材（人工乾燥材）の測定器による含水率検査については、改めて現状調査を行ったうえ検討します。

問 まちづくりは人づくりと言えます。地方創生の人づくりを進めるためにも、支所の教育センターを復活させるべきでは。

答 現行の組織を基本とし、見直しの必要な部分が生じた場合は、その時点で適正に判断します。



さがら たかのり
相良 卓紀 ⑦
(前 進)

- ・九州北部豪雨の検証と今後の対策
災害時の現場状況の把握
災害時の市民への情報伝達
今後の対策

問 5年前と同じところの冠水が何箇所あり、それらをどのように把握したか。

答 5年前と同じところの冠水は20箇所あり、各担当課、消防団、警察等が現場パトロールにより確認しました。

問 災害時の情報として市民に何をどう伝えたか。

答 気象情報、避難勧告などの情報を昨年6月から運用開始した「なかつメール（現登録者数1,624人）」、今年6月から開始した「防災ポータルサイト（今回のアクセス数3,671人）」、「ケーブルテレビのデータ放送」等により伝えました。

問 災害時の関係機関や市民によるパトロールは2次災害の危険があり、市民の早めの避難行動の判断のためにも5年前や今回も冠水したような個所などに監視カメラを設置し、その状況をケーブルテレビの通常番組を中止して流す考えはないか。

答 市独自の監視カメラ等の設置については、今後国や県とも協議し慎重に検討したい。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信 ⑧
(新生・市民クラブ)

- ・地域活性化について
- ・農業、農村の振興について
- ・高齢者がいつまでも住み慣れた地域で元気に過ごすために

問 今津地区活力活性化事業をどう総括し、今後どのように展開するのか。

答 地域活動に対する人的・財政的支援により、地域住民が主体となった活性化の動きが目に見える形で現れてくるようになり、一定の成果は上がっていると思います。こうした取り組みの効果等をしっかりと検証し、考えてまいります。

問 米以外の収益性の高い作物の生産に向けての取り組みは。

答 各種事業を活用しつつ県の技術指導を仰ぎながら新たな産地化を進めていきたいと考えています。

問 介護予防活動とは。

答 外に出る、歩く、手を動かす、会話・会食するなど地域活動を通して行われる動作により、体力維持、脳の活性化にもなることから、地域単位で行う活動そのものが介護予防になると考えます。

「なかつ市議会だより」は、左開きになっています。



かわうち やちよ
川内 八千代 ⑨
(日本共産党)

- ・医療費助成は小中学校生の通院費無料に
- ・乳幼児保育の支援強化を
- ・国保会計への一般会計からの繰り入れを
- ・学校給食費無料化

問 小中学生の通院費無料化は県内18市町村中13市町村で実施。来年4月から豊後高田市は高校生まで無料化。財源は、平成28年度13億円黒字、主な基金80億円で十分。市長はいつ決断しますか。

答 恒常的な財政負担や小児救急センターの状況も勘案し、また、国や県の動向を注視しながら慎重に対応していかなければならないと考えています。

問 市は待機児童はいないが、空き待ち児童は56名いるというが、空き待ち児童も保育園に入れるよう受入れ態勢充実で子育て家庭へ支援を。

答 特定の園への入所を希望しているため、空き待ちをしている児童については、個別に対応し、情報提供等を行って解消に努めています。

問 国保広域化後増税を避けるため一般会計から繰り入れを。

答 今後新制度の下でも税軽減のための繰り入れは計画的な廃止が求められるところです。



むらもと こうじ
村本 幸次 ⑩
(前 進)

- ・北部集中豪雨災害について
- ・地区における防災訓練について
- ・サイクリングターミナルの運用について

問 耶馬溪～山国間で法面崩壊等により3箇所被災しているが完成予定は。

答 柿坂地区の1箇所は、12月から工事を着手し、3月に完成予定。残りの2箇所は順次査定を受検し、来年5月末の完成予定です。

問 スモーク体験・地震体験車等による防災訓練の今後の広報活動は。

答 地震体験車は県の所有で、東日本大震災と同じ震度7の揺れを体験できる。各市町村が順番に利用しているため、ホームページ等により掲載することで広報を行っています。

問 台中市の自転車業界最大手のジャイアント社から50台購入した理由は。

答 今年2月に「サイクルツーリズム及び観光友好交流の促進に関する協定」を台中市との間で締結しました。今回9月11日に台中市訪問団45名を迎えるに当たり、インバウンド対策の一環として、さらには今後の誘客を見据えて購入しました。



おすみ としこ
小住 利子 ⑪
(公明党)

- ・防災対策について
- ・看護学生への支援体制について
- ・新生児聴覚検査について
- ・働き方改革について

問 避難所の運営等、防災対策に女性の視点からの意見を活かしてもらいたい。

答 今年度中に策定を計画しております避難所マニュアルについても、女性防災士の方々に意見をお伺いし、女性に配慮した避難所マニュアルの策定を行いたいと考えているところです。

問 ファビオラ看護学校の学生確保の取り組みに対し市として、奨学金制度を設ける施策があるか。

答 奨学金制度は、看護師確保策の1つとしてある程度有効であると思いますが、市として、他の看護学校で学ぶ学生もいる事から、県全体や他の自治体などの実態を調べていきたいと思えます。

問 新生児聴覚検査は、地方交付税措置をされているので、市は公費負担を行い、受診者の経済的負担の軽減を図るとされているがいかがですか。

答 検査の実施状況の把握をし、要支援児や保護者に対する支援と共に、他の市町村の状況・県の動向をみて、公費負担についても検討しています。



つねが しんたろう
恒賀 慎太郎 ⑫
(敬天親和会)

- ・高レベル放射性廃棄物処分場報道の主旨は
- ・都市計画の用途地域特例について

問 経済産業省が7月28日の新聞報道で、高レベル放射性廃棄物処分場の適地と思われる「科学的特性マップ」を発表しております。この中に当中津市も一部含まれているが、今後の国の進め方についての情報は。

答 マップは、将来的に段階的な調査の可能性のある地域等を表し、日本の大部分、中津市の約半分が含まれていますが、場所の特定はしているものではありません。重要な内容なので、今後も国や関係機関から説明がなされるものと思えます。

問 永添運動公園に建設予定のクラブハウスが用途基準に適さない様だが、許可できる一定の条件とはどのようなことが必要となるのか。

答 地域における良好な住環境を害するおそれがないと認められる場合や、公益上やむを得ないと認められる場合で、公聴会を開き利害関係者の意見を聴いたうえで、建築審査会の同意を得ることが条件として必要となります。

「なかつ市議会だより」は、左開きにしています。



ふる え しん いち
古江 信一
(前 進) ⑬

- ・民泊を活かした宿泊型観光振興策として中津版民泊・農泊の推進を

問 別府や日田・湯布院と比較して、宿泊型観光が弱いと言われる中津で、今後耶馬溪地域の日本遺産認定、「ロケしたい町No.1」の獲得、国民文化祭、障がい者芸術文化祭等、観光客増が期待される。2008年の大分国体時の民泊実施経験を活かし、農林水産業関係者とも連携し魅力ある民泊・農泊を推進することで経済効果が見込まれる宿泊型観光の振興へとつながり、「見る観光」から「体験する観光」へと需要が高まる中、インバウンド対策としても有効である。滞在時間延長・経済効果を上げる地域資源を活かした中津版民泊・農泊を推進してはどうか。

答 地域文化や生活を地元住民の方と交流しながら体験できる滞在型観光の一つとして、民泊・農泊を観光部門が中心となり関係課と連携して推進していきたい。第5次中津市総合計画における宿泊者目標達成のためにも民泊・農泊による宿泊施設の増加が期待されます。



たか の よし のぶ
高野 良信
(前 進) ⑭

- ・子ども家庭福祉の充実について
- ・健康寿命の延伸について

問 先日新聞上等で報道された厚生労働省が行った児童虐待に関する報告によると、平成28年度中全国210箇所の児童相談所の児童虐待相談として対応した件数は122,578件と過去最多件数で年々増加している。中津市の現状は。

答 児童に携わる機関で構成する「中津市要保護児童対策地域協議会」により児童虐待の未然防止を図っています。過去3年間の相談受案件数は、平成26年度196件、平成27年度208件、平成28年度239件と増加傾向にあります。

問 大分県が健康寿命日本一を目指し多種取り組みを行っているが、中津市はどのような取り組みを行っているか。

答 みんなで進める健康づくり運動の推進として「元氣いきいき☆週一体操教室」の立ち上げを行っています。また、医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を支援する体制作りや、老人クラブなどの活躍の場への支援をしています。



やま がげ とも かず
山影 智一
(敬天親和会) ⑮

- ・中心市街地の未来市民プールを移設し直売レストランの建設を
- 宮永角木線の進捗状況と今後の計画
- 商業・商店街振興
- 中津祇園の振興

問 老朽化した市民プールを市民ニーズも踏まえ、ダイハツスポーツパークに移設し、スポーツ施設を集約し、市民プール跡地に、中津市の逸品、旧郡部の米や蕎麦（そば）、海の幸などを直売したり、食事を提供したり、また、耶馬サイクリングロードのスタート地点として、自転車の貸出をしたり、レストランにはキャラハン邸を活用するなど、夢ある中心市街地の計画は出来ないでしょうか。

答 市民プールは、まちづくり全体を見据え、市民ニーズを踏まえた他地域との連携や、利用促進に加え、国県の制度、財政状況、効率性、経費や維持管理費など総合的に勘案し検討します。城下町観光では、食事をする場所、地元産品を購入できる店が少ないとの声があります。行政の役割は、観光施設等の維持・保存、歩きやすい道路の整備など計画的に実施することだと考えています。レストラン等の施設は、行政主導ではなく、民間主導で行うことが大切だと考えます。



すみ よし おみ
角 祥臣
(前 進) ⑯

- ・奨学金制度について
- ・災害時の避難所対応について
- ・中津・やばけいの観光客の現状について
- ・スポーツを支える人づくり

問 現在の奨学金の金額や定員は不十分であり、時代にあった対応と保育士・看護師を目指す学生に入学準備貸与制度の検討を行ってほしい。

答 保育士は市内就職を前提とした奨学金返還補助制度を開始。看護師も短大との連携で人材確保策を模索しており効果的な方法を考えていきたい。

問 市民に対して避難時の持参物の周知徹底を。

答 6月の市報掲載に引き続き、啓発に努めます。

問 九州北部災害による観光に対しての風評被害と、今後の誘客対策はどのように進めて行くのか。

答 被災直後は影響があったため、県等と連携し、誘客に繋がるPRなどの支援を行っております。

問 中学校での部活動や小学校の社会体育の現状とスポーツ指導者の確保と育成に対する取り組みは。

答 中学校の部活動は171名の教員、小学校はスポーツ少年団の指導者139名です。研修会等を実施し育成を図っています。

「なかつ市議会だより」は、左開きにしています。



はやし ひで あき
林 秀明
(前 進) 17

- ・ 中津からあげ等の廃食油を再生可能バイオディーゼル発電に
- ・ 第1次産業の連携、共に助け合う働き方について
- ・ ふるさと住民票制度について

問 からあげの聖地中津の特性を生かして、店舗やスーパーや食事処等の廃食油から、バイオディーゼル発電の可能性にチャレンジしてみてもどうか。

答 中津は、からあげ店も多く廃食油の量はある程度見込まれます。そして全国的にも認知度の高い中津からあげの油を再生することは、再生可能エネルギーの取り組みのPRにも繋がるものと思われませんが、導入に際しては課題もあり各事業所等の取り組みを今後注視していきたいと思えます。

問 第1次産業に携わる人が、相互協力する連携協議会の設置は出来ないか。

答 相互に協力することは、今の第1次産業では大事なことと思えます。協議会の設置については、まずは関係者からの意見を聞いてみます。

問 地域活性化や将来的な移住に繋げるために、ふるさと住民票制度の導入の考えは。

答 中津市に愛着を持って柔軟に結び付けるという制度には共感ですがさらなる工夫が必要と考えます。



まつ ば たみ お
松葉 民雄
(公明党) 18

- ・ 食品ロス対策について
- ・ 防災対策について
- ・ 山林保全対策について
所有者の把握
森林活用の進め方について

問 森林が多く所在する山村地域は、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減などの厳しい状況、森林吸収源対策及び担い手育成等の山村対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足しています。市としての森林整備の進め方について伺います。

答 今後の森林整備については、木材生産に適した生産林と下層に草木が繁茂し、広葉樹等の多様な樹木で構成され、公益的機能を重視した環境林に区分した整備を推進することが重要です。林地台帳と森林簿の整備を進め、森林所有者や森林資源の把握を行うことで、林業事業者による木材生産力強化や林業適地での確実な再生林を進め、植栽から保育、間伐など適切な森林施業を推進したいと考えています。併せて、森林の有する国土保全や水源かん養などの多面的機能を十分に発揮させるため、環境林としての整備を推進し、防災・減災機能を高めた災害に強い森林づくりを目指したい。

平成29年第4回定例会の予定

11月	27日(月)	本会議(会期・議案上程)	
	4日(月)	本会議「議案質疑」	
	5日(火)	常任委員会	
	6日(水)		
	11日(月)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決」	
	12月	12日(火)	本会議「一般質問」(4日間)
		13日(水)	
		14日(木)	
		15日(金)	
		19日(火)	自由討議
21日(木)		本会議(最終日)	

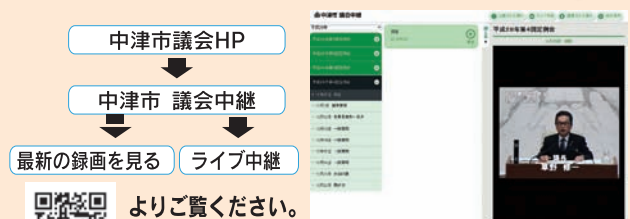
☆あなたも、議会を傍聴してみませんか。

本会議の傍聴は、事前の申し込みがなくてもいつでもできます。また、委員会は委員長の許可を得て、傍聴できます。一般質問は、議会ホームページのライブ、録画放映、ケーブルテレビの放映、図書館でのDVD貸し出しでご覧いただけます。本会議の議事録は、議会事務局・図書館でご覧になることができます。また、ホームページ上でも閲覧できます。ご自由にご利用ください。

☆インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は



【QRコード】

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

9月議会で決まった内容

平成29年第3回定例会は、9月1日から9月29日までの29日間にわたり開催されました。内容としては予算関係議案10件、条例関係議案10件、その他の議案4件、計24件を可決し、人事案件5件のうち、2件を同意、3件を異議ない旨答申しました。なお、意見書9件のうち7件を原案通り決定、2件を否決しました。なお、決算議案14件は閉会中の継続審査としました。その一部をお知らせします。

補 正 予 算

◆平成29年度中津市一般会計補正予算（第3号）

- ・災害時の福祉避難所の体制強化を図るため、福祉避難所に備品、物資を備蓄する経費の予算措置。
- ・南部童心児童館の建替えについて、従来の児童館の主な利用者層である未就学児、小学生に加え、中学生や高校生までが利用できる児童館本来の機能を備えた施設として建設することとし、それに係る経費の予算措置。
- ・北九州一中津ウオーキング大会について、耶馬溪導水に端を発した北九州市との交流の強化を図り、また両市の観光のPRを目的として10月14日に開催するための経費の予算措置。
- ・教育課程研究センターにより三保小学校が生活科の研究指定校となったことに伴う指導計画及び指導法の研究推進に係る経費。
- ・市場ニーズに対応した農業施策として、食品産業とマッチングした加工用野菜生産組織を支援する「食品企業連携産地拡大推進事業」に係る経費。
- ・「中津市公共施設管理プラン」の方針により策定した「道路長寿命化修繕計画」に基づき、市道豊田町牛神線の舗装修繕に係る経費。

◆平成29年度中津市一般会計補正予算（第4号）

人 事

◆中津市教育委員会委員の任命

あし かが ゆ き こ
足 利 由 紀 子 氏 (53歳) (中央町)

◆中津市固定資産評価審査委員会委員の任命

く け え み こ
工 家 恵 美 子 氏 (52歳) (加来)

◆人権擁護委員候補者の推薦

たか はし え み こ
高 橋 恵 美 子 氏 (68歳) (相原)

き むら と も あ き
木 村 朋 昭 氏 (70歳) (三光)

むら かみ ゆ か し
村 上 由 香 思 氏 (53歳) (耶馬溪町)

※() 内の年齢は議案提出時の年齢

報 告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の報告について

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の報告について

◆債権放棄の報告について

◆平成29年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

◆平成29年度中津市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

- ・国庫補助事業の確定に伴う事業費の減額。

◆平成29年度中津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

◆平成29年度中津市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

◆平成29年度中津市小規模集合排水事業特別会計補正予算（第1号）

◆平成29年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

◆平成29年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算（第2号）

- ・放送設備の更新に係る経費の予算措置。

◆平成29年度中津市診療所事業会計補正予算（第1号）

- ・小児救急センターの運営に係る薬剤師、看護師の給与費等の予算措置。

そ の 他

◆工事請負契約の締結について（住建第11号市営三沢住宅(C棟)建築工事）

◆工事請負変更契約の締結について（公下第15号一ツ松・宮夫枝線管渠布設工事）

◆建設工事委託に関する協定の締結について

◆中津市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の取り消しについて

自 由 討 議

◆公民館のあり方

- ①公民館に求められる機能とは
- ②地域活性化の拠点とするために
(補足説明者：木ノ下議員)

◆若者や女性などの幅広い層が立候補したくなる環境整備に向けて

- ①選挙公営制度の公費助成の拡大
- ②魅力ある議会づくり
(補足説明者：大塚議員)

以上2件について自由討議が行われました。

◆賛否の分かれた議案

〔議第154号〕 平成29年度中津市一般会計補正予算（第4号）

（個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています）

議案番号	議決結果	新生・市民クラブ							前 進					敬天親和会			日本共産党			公明党		緑水会						
		今井 義人	須賀 瑠美子	奥山 裕子	松井 康之	吉村 尚久	大塚 正俊	木ノ下 素信	千木良 孝之	草野 修一	村本 幸次	角 祥臣	藤野 英司	高野 良信	相良 卓紀	古江 信一	林 秀明	山影 智一	古森 三千年	恒賀 慎太郎	中村 詔治	荒木 ひろ子	川内 八千代	三上 英範	松葉 民雄	小住 利子	中西 伸之	
議第154号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 上記以外の議案（請願、意見書・決議・修正案等の議員提出議案を除く）については、全会一致で原案可決、同意、承認、異議ない旨答申するとなりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。

条例

- ◆中津市子どもいきいきプレイルームの設置及び管理に関する条例の制定について
 - ・小学校就学前の子とその親に、天候が悪い日も親子で集えるふれあいの場を提供し、もっと子供を産み、育てやすい環境づくりや交流の場づくりを進めることを目的とした屋内遊び場を年内を目処に設置し運営を開始するため制定。
- ◆中津市個人情報保護条例の一部改正について
- ◆中津市一般職の非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正について
 - ・平成30年1月から開始予定のコンビニエンスストア等に設置してある多機能端末機による証明書交付サービスに対応すべく新たに宿直員を設置すること及び均等な雇用機会の付与並びに幅広い労働力の確保の観点から一般職の非常勤職員等の年齢に関する任用制限を廃止する必要があるため一部改正。
- ◆中津市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について
- ◆中津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市ケーブルネットワーク施設条例の一部改正について
- ◆介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部改正について
- ◆中津市印鑑条例の一部改正について
 - ・コンビニエンスストア等に設置してある多機能端末機及び市民課窓口における自動受付機による証明書交付サービスの開始に伴う一部改正。
- ◆中津市葬斎場及び火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ◆中津市条例の廃止に関する条例の一部改正について

意見書

- ◆「全国森林環境税」の創設に関する意見書
- ◆ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
- ◆政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書
- ◆民生委員・児童委員制度の拡充と活動費に関する意見書
- ◆核兵器禁止の取り組みを強化することを求めるとともに北朝鮮のミサイル発射及び核実験を強く非難する意見書
- ◆北朝鮮によるミサイル発射と核実験に厳しく抗議し厳しい安全保障環境に対する冷静な認識のもと、平和的解決を求める意見書
- ◆オスプレイの飛行自粛、事故原因究明及び安全対策を求める意見書

以上7件の意見書は原案通り決定し、関係機関へ提出しました。
- ◆北朝鮮によるミサイル発射と核実験に厳しく抗議する一方、粘り強い対話を通じた平和的解決を進めることを求める意見書
- ◆オスプレイの即時飛行禁止と撤退を求める意見書

以上2件の意見書は否決されました。

虚礼廃止にご理解ご協力を

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されています。

- お中元
- 初盆等のお供え
- 暑中見舞い状
- お祭りへの寄附
- お歳暮
- 年賀状 等

また、市民の皆様が議員に寄附等を求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

ご報告と御礼

中津市議会では、幅広く市民の皆様のご意見をお聞きするため、7月15日(土)、22日(土)、23日(日)に耶馬溪地区、小楠校区、豊田校区、鶴居校区の4校区（地区）で「市民と中津市議会のつどい」を開催しました。参加された皆様に感謝申し上げますとともに、皆様からいただいた貴重なご意見、ご提案は市議会において集約し、ホームページに掲載しております。